

2015年3月期 第1四半期電話会議資料

(2871)

株式会社ニチレイ

【お問合せ先】

財務IR部 IRグループ

TEL: 03-3248-2167

E-mail: irinfo@nichirei.co.jp

URL: <http://www.nichirei.co.jp/ir/index.html>

加工食品が回復し低温物流の減益をカバー

単位:億円

	第1四半期			第2四半期(累計)					通期						
	実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比		見込	前年同期間比		前回見込比		中計比	
		増減	率		増減	率	前回見込	増減		増減	率	前回見込	増減	中計	増減
加工食品	529	39	8%	1,070	65	7%	1,070	0	2,140	96	5%	2,140	0	1,975	165
水産	162	5	3%	333	-12	-4%	333	0	686	-0	-0%	686	0	650	36
畜産	209	22	12%	375	-0	-0%	375	0	800	-1	-0%	800	0	725	75
低温物流	436	34	8%	865	32	4%	865	0	1,730	46	3%	1,730	0	1,726	4
不動産	11	-1	-5%	24	-0	-1%	24	0	47	-3	-6%	47	0	48	-1
その他	9	2	31%	17	2	12%	17	0	41	4	11%	41	0	40	1
調整額	-48	-2	-	-99	-4	-	-99	0	-194	-3	-	-194	0	-194	0
売上高合計	1,308	100	8%	2,585	83	3%	2,585	0	5,250	138	3%	5,250	0	4,970	280
加工食品	5	6	-	25	15	149%	25	0	55	21	62%	55	0	73	-18
水産	1	0	14%	2	1	125%	2	0	5	1	19%	5	0	5	0
畜産	1	2	-	2	4	-	2	0	5	4	293%	5	0	7	-2
低温物流	18	-4	-16%	42	-2	-5%	42	0	82	-7	-8%	82	0	83	-1
不動産	5	-1	-10%	11	-1	-7%	11	0	21	-3	-11%	21	0	21	0
その他	1	1	-	1	0	69%	1	0	4	-0	-0%	4	0	4	0
調整額	-3	-1	-	-5	-5	-	-5	0	-7	-8	-	-7	0	-7	0
営業利益合計	28	4	16%	78	12	18%	78	0	165	7	4%	165	0	186	-21
経常利益	31	6	24%	76	14	22%	76	0	159	15	10%	159	0	179	-20
当期純利益	15	2	19%	48	6	15%	48	0	95	6	7%	95	0	110	-15

注: 為替レートは米ドル/円 105円、ユーロ/円 135円を想定

ROE	7.4%	0.1%	7.4%	-	8.6%	-1.2%
EPS	33円	2円	33円	-		

- 1.売上高は主力の加工食品と低温物流に加え、食肉相場が上昇した畜産も伸長し増収。
- 2.営業利益は前期の価格改定の継続効果が寄与した加工食品が低温物流の減益をカバーし増益。
- 3.見込は5月13日に発表した期初見込から変更なし。

前期に実施した価格改定の継続効果が寄与し増益に転換

単位: 億円

		第1四半期			第2四半期(累計)				通期					
		実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比		見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率		増減	率	前回見込	増減		増減	率	前回見込	増減
加工食品	売上高 計	529	39	8%	1,070	65	7%	1,070	0	2,140	96	5%	2,140	0
	家庭用調理品	144	4	3%	294	15	5%	294	0	597	26	5%	597	0
	業務用調理品	235	20	9%	464	23	5%	464	0	943	32	4%	943	0
	農産加工品	49	-0	-1%	99	-1	-1%	99	0	188	-5	-2%	188	0
	海外	61	10	19%	111	10	9%	111	0	235	17	8%	235	0
	その他	41	6	16%	102	19	23%	102	0	177	25	16%	177	0
	営業利益	5	6	-	25	15	149%	25	0	55	21	62%	55	0

- 1.調理冷凍食品の販売は引き続き好調に推移。営業利益は円安による原材料・仕入コスト増の影響が続くが、前期に実施した価格改定の継続効果が寄与し増益。第2四半期から業務用の輸入調理品の価格改定を含むコスト吸収策の効果が現れる見込。
- 2.家庭用調理品は消費増税の影響があったものの、新商品「本格焼おにぎり」がヒットし増収。
- 3.業務用調理品は中食向けを中心にチキン加工品が伸長。
- 4.海外は米国でのアジアンフーズの販売増に加え、GFPTニチレイの欧州向けチキン加工品の販売も好調に推移。

水産、畜産ともに計画通り進捗

単位:億円

		第1四半期			第2四半期(累計)					通期				
		実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比		見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率		増減	率	前回見込	増減		増減	率	前回見込	増減
水産	売上高	162	5	3%	333	-12	-4%	333	0	686	-0	-0%	686	0
	営業利益	1	0	14%	2	1	125%	2	0	5	1	19%	5	0
畜産	売上高	209	22	12%	375	-0	-0%	375	0	800	-1	-0%	800	0
	営業利益	1	2	-	2	4	-	2	0	5	4	293%	5	0

- 1.水産は依然高値圏にある「えび」の需要減退により取扱が減少。一方、相対的に相場が安いポジションにあった「たこ」の販売価格が上昇し、売上と利益の両面に寄与。水産物の相場が全般的に高い水準にあるなか、今後も引き続き慎重な買い付けと在庫回転を重視した販売に徹することで、需給変動リスクを軽減する。
- 2.畜産は豚肉を中心に相場が上昇したが、仕入コスト増に対する販売価格への転嫁が進んだことで増収増益。加工品などで引き続き価格改定を進め、仕入コスト増へ対応する。

売上は好調に推移するが、コストの増加が響き減益

単位: 億円

	第1四半期			第2四半期(累計)					通期					
	実績	前年同期間比		見込	前年同期間比		前回見込比		見込	前年同期間比		前回見込比		
		増減	率		増減	率	前回見込	増減		増減	率	前回見込	増減	
低温 物流	売上高計	436	34	8%	865	32	4%	865	0	1,730	46	3%	1,730	0
	国内小計	359	17	5%	719	20	3%	719	0	1,430	32	2%	1,430	0
	物流ネットワーク	227	4	2%	452	-4	-1%	452	0	898	-24	-3%	898	0
	地域保管	131	13	11%	267	24	10%	267	0	532	56	12%	532	0
	海外	73	14	24%	140	14	11%	140	0	283	20	7%	283	0
	その他・共通	5	2	90%	6	-2	-26%	6	0	17	-5	-23%	17	0
	営業利益計	18	-4	-16%	42	-2	-5%	42	0	82	-7	-8%	82	0
	国内小計	17	-4	-19%	40	-1	-2%	40	0	77	-5	-7%	77	0
	物流ネットワーク	6	-3	-35%	16	-2	-12%	16	0	34	-3	-7%	34	0
	地域保管	11	-1	-7%	24	2	7%	24	0	43	-3	-6%	43	0
海外	2	-0	-18%	6	-0	-2%	6	0	11	0	0%	11	0	
その他・共通	-2	1	-	-4	-1	-	-4	0	-6	-2	-	-6	0	

- 国内は前期に稼働した東扇島DC二期棟や北九州TCの新設効果などが寄与し増収。一方、営業利益はトラックドライバーの不足や燃油価格の上昇などに伴う輸配送コスト増に加え、電力料金の上昇もあって減益。下期から稼働する咲洲DCなどの償却負担増もありコスト増は継続するが、業務改善の更なる推進などにより、通期での計画達成を見込む。
- 海外は欧州で運送の取扱が伸長し増収。一方、営業利益はチキンの入庫や在庫の減少などが響き、現地通貨ベースでは減益となるが、為替影響により微減に留まる。

參考資料

連結バランスシートの変動要因

単位：億円(未満切り捨て)

科目	14/3	14/6	増減	
〔資産の部〕				
流動資産	1,315	1,353	38	①
固定資産	1,869	1,872	2	
資産の部合計	3,185	3,226	41	
〔負債・純資産の部〕				
流動負債	955	996	41	②
固定負債	861	856	△4	
負債の部合計	1,816	1,853	36	
純資産の部	1,368	1,372	4	
(うち株主資本)	1,248	1,249	0	
有利子負債	1,060	1,091	30	
(うちリース債務除く)	857	896	39	
科目	13/6	14/6	増減	
設備投資額	27	28	0	
(うちリース資産除く)	22	24	1	
減価償却費	34	36	2	
(うちリース資産除く)	24	27	2	

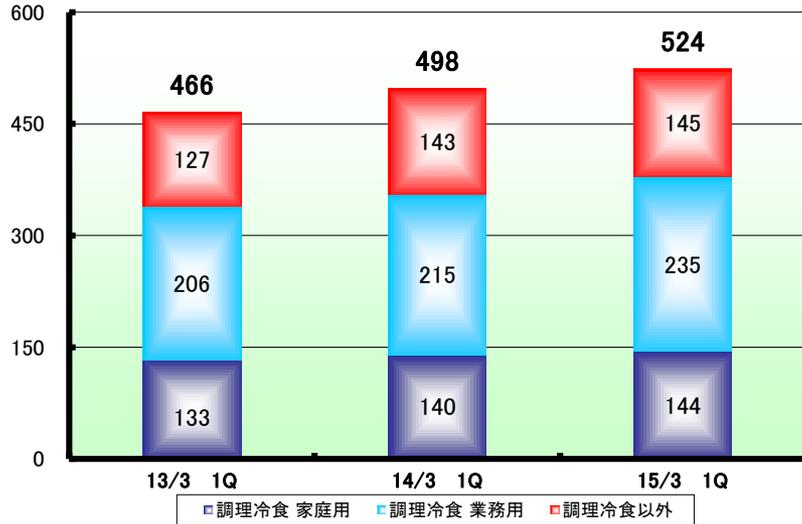
【主な要因】

- ① 売上債権＋23、たな卸資産＋14
(季節的要因)
- ② 有利子負債(短期)＋38
(営業資金の増加)

冷凍食品売上高の推移

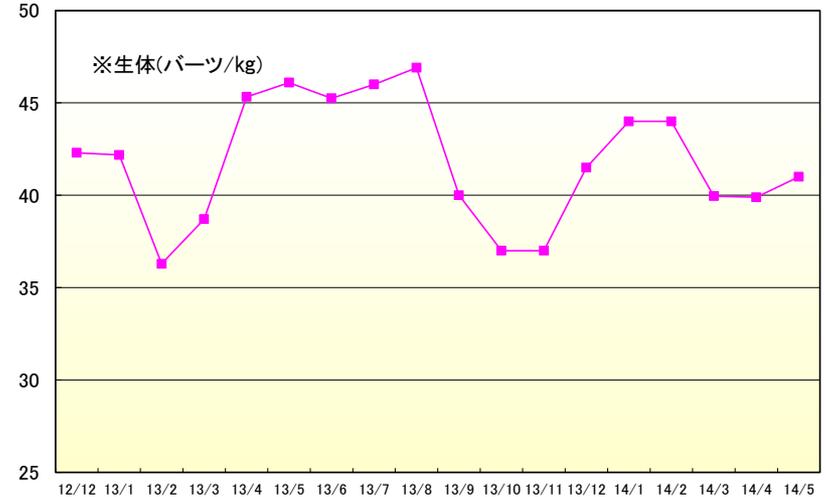
(日本冷凍食品協会定義にもとづき、加工食品のほか水産畜産の売上も含む)

単位: 億円



タイ国内鶏肉卸売価格の推移

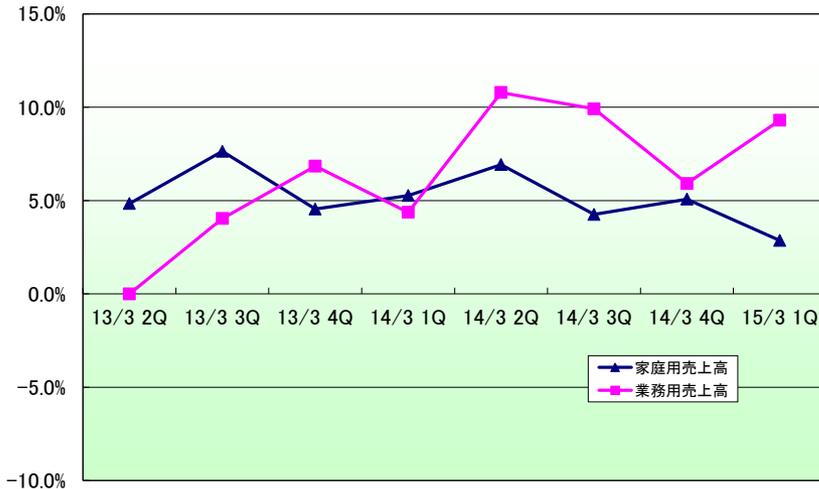
単位: パーツ



出典: (独)農畜産業振興機構(alic)発表のデータを当社が加工

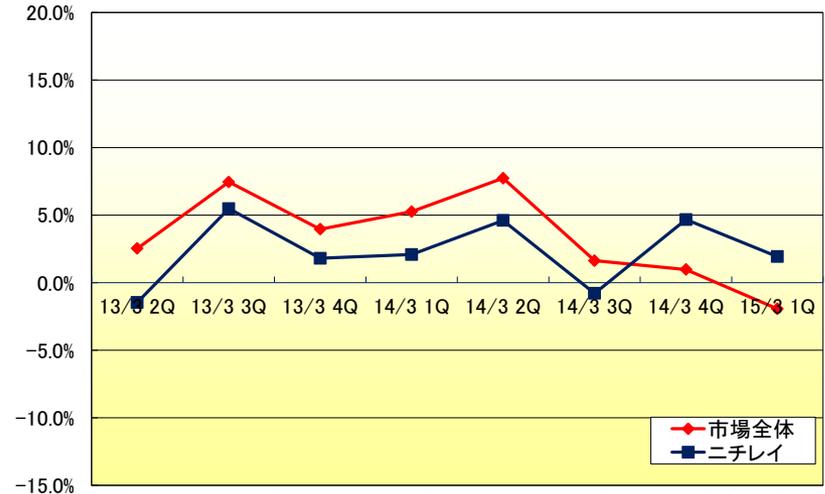
当社の家庭用・業務用調理冷食の売上高前年比増減率推移

増減率



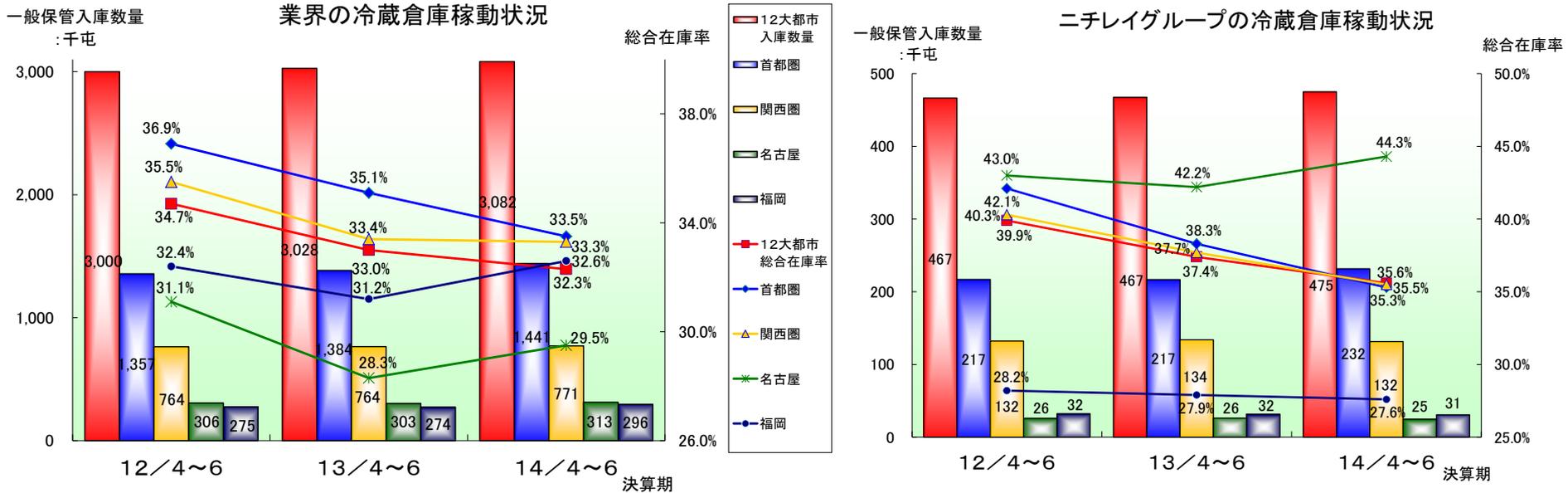
SCI 家庭用調理冷凍食品 100人当たり購入金額の前年比推移

増減率



出典: インテージSCI(冷凍調理) 100人当たり購入金額の前年同期比。購入ルート=生協店舗を除く

冷蔵倉庫の稼働状況(業界は日本冷蔵倉庫協会資料を当社で加工)



注: 在庫率は冷蔵庫内の全スペースにおいて貨物が占める割合を指す。スペースには通路や作業空間などの荷物が置けない空間が通常半分程度含まれる。

当資料取扱い上のご注意

当資料に記されたニチレイの現在の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただくようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます：

- ①ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢および業界環境
- ②米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
- ③商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
- ④新商品・新サービス開発の実現性
- ⑤成長戦略とローコスト構造の実現性
- ⑥ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
- ⑦偶発事象の結果
など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでニチレイをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。